



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年10月29日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・アドボカシー (氏名) 藤井 郁乃 (TEL) 03(3244)3201
 & リレーション部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	651,666	5.9	90,169	3.8	89,085	△0.0	71,609	△1.7	71,609	△1.7	70,077	△10.3
2021年3月期第2四半期	615,480	△5.4	86,872	△46.4	89,091	△44.9	72,838	△43.3	72,838	△43.3	78,100	4.7
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
			円 銭				円 銭					
2022年3月期第2四半期			38.65				38.63					
2021年3月期第2四半期			39.21				39.19					

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,261,508	1,417,622	1,417,622	62.7
2021年3月期	2,273,628	1,386,115	1,386,115	61.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,323,000	5.9	218,000	60.2	216,000	48.6	174,000	44.3	174,000	44.3	93.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,323,000	5.9	270,000	7.4	213,000	1.5	114.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期第2四半期	1,861,787,075株	2021年3月期	1,861,787,075株
② 期末自己株式数	2022年3月期第2四半期	8,904,904株	2021年3月期	8,757,705株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期第2四半期	1,852,857,937株	2021年3月期第2四半期	1,857,470,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2021年10月29日(金)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ配信+電話会議)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第2四半期（2021年4月1日から9月30日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2021年3月期)	当第2四半期 (2022年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	615,480	651,666	+36,186 (+5.9%)
売上原価	119,549	124,736	+5,186 (+4.3%)
販売費及び 一般管理費	242,135	270,506	+28,372 (+11.7%)
研究開発費	111,700	119,060	+7,359 (+6.6%)
無形資産償却費	11,550	12,379	+829 (+7.2%)
持分法による投資損益	△268	308	+576 (-)
コア営業利益	130,278	125,293	△4,985 (△3.8%)
コア四半期利益	106,158	98,756	△7,402 (△7.0%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	57.15	53.30	△3.85 (△6.7%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジや急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタ、尿路上皮がん治療剤パドセブは想定どおりに伸長したほか、腎性貧血治療剤エベレンゾや過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガの売上も拡大しました。
- ・ 加えて、COVID-19の感染拡大の影響で主に前第1四半期に売上が減少した心機能検査補助剤レキスキャンの売上が回復したことも、増収要因となりました。
- ・ これらによって、消炎・鎮痛剤セレコックスや高コレステロール血症治療剤リピトールの販売契約終了、前立腺がん治療剤エリガードの製品譲渡などによる売上の減少を補いました。

以上の結果、売上収益は、6,517億円（前年同期比5.9%増）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、5,269億円（同6.3%増）となりました。売上原価率は、主に製品構成の変化により前年同期に比べ0.3ポイント低下し、19.1%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、2,705億円（同11.7%増）となりました。XTANDIの米国での売上拡大に伴う共同販促費用の増加（同102億円増）をはじめ、グローバル化に伴うシステムへの投資（同約50億円増）や新製品上市・育成に向けた販売促進活動費用の増加（同約30億円増）、為替の影響（同84億円増）などにより、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、1,994億円（同10.0%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、1,191億円（同6.6%増）となりました。米国及び欧州における第Ⅲ相試験の患者組み入れが完了した選択的ニューロキニン3受容体拮抗薬fezolinetantの開発費用が減少した一方で、抗Claudin18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブの開発費用の増加やRx+事業（iota関連）への投資を拡充したことなどにより、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、124億円（同7.2%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,253億円（同3.8%減）、コア四半期利益は988億円（同7.0%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第2四半期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前年同期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては245億円の増加、コア営業利益においては115億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前第2四半期	当第2四半期	変動
米ドル/円	107	110	3円安
ユーロ/円	121	131	10円安

期首・期末の変動	前第2四半期	当第2四半期
米ドル/円	3円高	1円安
ユーロ/円	5円安	1円高

<連結業績（フルベース）>

当第2四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。売上収益及び営業利益は増加した一方、四半期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第2四半期における「その他の収益」は28億円（前年同期：43億円）、「その他の費用」は380億円（同：477億円）になりました。

「その他の費用」として、当第2四半期において、ゾルベツキシマブの膵臓腺がんの開発計画を見直したことに伴い、Ganymed社の買収時に計上した条件付対価の公正価値が増加したため、その増加分（87億円）を「その他の費用」として計上しました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2021年3月期)	当第2四半期 (2022年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	615,480	651,666	+36,186 (+5.9%)
営業利益	86,872	90,169	+3,296 (+3.8%)
税引前四半期利益	89,091	89,085	△5 (△0.0%)
四半期利益	72,838	71,609	△1,229 (△1.7%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	39.21	38.65	△0.57 (△1.4%)
四半期包括利益	78,100	70,077	△8,023 (△10.3%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第2四半期 (2021年3月期)	当第2四半期 (2022年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	2,255	2,676	+18.7%
ゾスパタ	110	165	+50.3%
パドセブ	60	91	+51.5%
エベレンゾ	3	14	+319.1%
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	800	844	+5.5%
プログラフ*	896	923	+3.0%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

<XTANDI/イクスタンジ>

- ・ 販売している全ての地域で売上が拡大しました。2021年4月に「転移性ホルモン感受性前立腺がん(M1 HSPC)」の適応追加が承認された欧州においては、一部の国々で保険償還が開始され、売上の拡大に貢献しました。加えて、同年3月に保険償還が開始された中国においては、物量が想定よりも増加し売上が拡大しました。

<ゾスパタ>

- ・ 販売している全ての地域で売上が拡大し、主に米国と欧州において前年同期と比べて伸長しました。加えて、2021年4月に発売した中国での売上也貢献しました。

<パドセブ>

- ・ 米国において、2021年7月に「シスプラチン不適応で治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がん」の適応追加が承認されるなど、共同販促収入が想定どおりに伸長しました。加えて、日本において、2021年9月に「がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌」の適応症で承認されました。

<エベレンゾ>

- ・ 日本の売上が拡大したほか、2021年9月に欧州で発売されました。

<ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ>

- ・ 米国の売上が減少した一方で、その他の地域では売上が拡大し、グローバルの売上は拡大しました。

<プログラフ>

- ・ 欧州や中国で伸長した一方で、その他の地域で売上が減少するなど地域ごとに増減の差はあったものの、グローバルの売上は通期予想に沿って推移しました。

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国、エスタブリッシュドマーケット及びグレーターチャイナは増加した一方、日本及びインターナショナルマーケットは減少しました。

(単位：億円)

	前第2四半期 (2021年3月期)	当第2四半期 (2022年3月期)	増減率
日本	1,442	1,305	△9.5%
米国	2,367	2,701	+14.1%
エスタブリッシュド マーケット* ¹	1,389	1,574	+13.3%
グレーターチャイナ* ²	296	331	+11.8%
インターナショナル マーケット* ³	567	553	△2.5%

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナルマーケット：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末(2021年9月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

【資産】

総資産は、2兆2,615億円(前期末比121億円減)となりました。

<非流動資産>当第2四半期末:1兆3,851億円(同160億円減)

- ・有形固定資産は、2,667億円(同20億円増)となりました。
- ・のれんは2,850億円(同10億円増)、無形資産は6,410億円(同104億円減)となりました。第1四半期において、DNAワクチンASP0892及び抗CD40モノクローナル抗体bleseelumabの開発中止に伴う減損損失を計上したことなどにより、無形資産が減少しました。

<流動資産>当第2四半期末:8,765億円(同39億円増)

- ・現金及び現金同等物は3,183億円(同78億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆4,176億円(同315億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は62.7%となりました。

- ・四半期利益716億円を計上した一方で、剰余金の配当389億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、8,439億円(同436億円減)となりました。

<非流動負債>当第2四半期末:2,891億円(同60億円減)

<流動負債>当第2四半期末:5,548億円(同376億円減)

- ・当第2四半期末の社債の残高は800億円(同400億円減)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,394億円（前年同期比244億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額は241億円（同179億円増）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△557億円（同175億円支出増）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△899億円（同198億円支出減）となりました。

- ・ 社債及び短期借入金の減少が400億円ありました。また、配当金の支払額は389億円（同18億円増）となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,183億円（前期末比78億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。
当期（2022年3月期）の通期連結業績予想は下表のとおりです。

コアベースの業績予想は、2021年4月に公表した業績予想を据え置き、修正していません。

一方、フルベースの業績予想は、当第2四半期において、ゾルベツキシマブの膵臓腺がんの開発計画を見直したことに伴い、Ganymed社の買収時に計上した条件付対価の公正価値が増加したため、その増加分（87億円）を「その他の費用」として計上したことを踏まえて、営業利益、税引前利益及び当期利益を下方修正しています。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前回予想 (2022年3月期)	最新予想 (2022年3月期)	差異	前期実績 (2021年3月期)
売上収益	1,323,000	1,323,000	—	1,249,528
販売費及び一般管理費	541,000	541,000	—	504,316
研究開発費	242,000	242,000	—	224,489
コア営業利益	270,000	270,000	—	251,375
コア当期利益	213,000	213,000	—	209,906
基本的1株当たり コア当期利益（円）	114.95	114.95	—	113.03

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前回予想 (2022年3月期)	最新予想 (2022年3月期)	差異	前期実績 (2021年3月期)
売上収益	1,323,000	1,323,000	—	1,249,528
営業利益	227,000	218,000	△9,000	136,051
税引前利益	225,000	216,000	△9,000	145,324
当期利益	183,000	174,000	△9,000	120,589
基本的1株当たり 当期利益（円）	98.76	93.90	△4.86	64.93

[通期の想定為替レート]

2022年3月期（想定）：110円／米ドル、130円／ユーロ

2021年3月期（実績）：106円／米ドル、124円／ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	615,480	651,666
売上原価	△119,549	△124,736
売上総利益	495,931	526,931
販売費及び一般管理費	△242,135	△270,506
研究開発費	△111,700	△119,060
無形資産償却費	△11,550	△12,379
持分法による投資損益	△268	308
その他の収益	4,263	2,847
その他の費用	△47,668	△37,972
営業利益	86,872	90,169
金融収益	3,445	1,888
金融費用	△1,227	△2,972
税引前四半期利益	89,091	89,085
法人所得税費用	△16,253	△17,476
四半期利益	72,838	71,609
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	72,838	71,609
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	39.21	38.65
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	39.19	38.63

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	72,838	71,609
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	6,585	△6,369
確定給付制度の再測定	△844	1,573
小計	5,741	△4,796
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△479	3,264
小計	△479	3,264
その他の包括利益	5,262	△1,532
四半期包括利益合計	78,100	70,077
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	78,100	70,077

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	264,623	266,671
のれん	284,011	284,993
無形資産	651,427	640,981
売上債権及びその他の債権	33,924	32,376
持分法で会計処理されている投資	7,117	8,580
繰延税金資産	54,176	55,089
その他の金融資産	95,850	87,094
その他の非流動資産	9,913	9,270
非流動資産合計	1,401,040	1,385,054
流動資産		
棚卸資産	164,080	148,732
売上債権及びその他の債権	343,178	357,801
未収法人所得税	13,984	17,569
その他の金融資産	5,560	9,993
その他の流動資産	19,658	24,063
現金及び現金同等物	326,128	318,295
流動資産合計	872,588	876,454
資産合計	2,273,628	2,261,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,830	178,531
自己株式	△15,377	△15,605
利益剰余金	953,289	985,231
その他の資本の構成要素	167,373	166,464
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,386,115	1,417,622
資本合計	1,386,115	1,417,622
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	400	444
繰延税金負債	18,161	9,371
退職給付に係る負債	38,982	37,075
引当金	5,796	4,129
その他の金融負債	199,021	204,838
その他の非流動負債	32,782	33,261
非流動負債合計	295,141	289,118
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	124,777	111,568
未払法人所得税	8,395	12,381
引当金	22,187	15,342
その他の金融負債	148,163	106,117
その他の流動負債	288,851	309,359
流動負債合計	592,372	554,768
負債合計	887,513	843,886
資本及び負債合計	2,273,628	2,261,508

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2020年4月1日残高	103,001	177,506	△7,178	905,851	899	93,277
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	72,838	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△479
四半期包括利益合計	—	—	—	72,838	—	△479
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△881	—	—	—
自己株式の処分	—	△444	748	△225	△79	—
配当金	—	—	—	△37,150	—	—
株式報酬取引	—	391	—	—	—	—
振替	—	—	—	533	—	—
所有者との取引額合計	—	△53	△133	△36,842	△79	—
2020年9月30日残高	103,001	177,452	△7,311	941,847	820	92,798

2021年4月1日残高	103,001	177,830	△15,377	953,289	745	147,024
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	71,609	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	3,264
四半期包括利益合計	—	—	—	71,609	—	3,264
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△715	—	—	—
自己株式の処分	—	△357	487	△87	△44	—
配当金	—	—	—	△38,914	—	—
株式報酬取引	—	1,058	—	—	—	—
振替	—	—	—	△666	—	—
所有者との取引額合計	—	702	△227	△39,667	△44	—
2021年9月30日残高	103,001	178,531	△15,605	985,231	701	150,288

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定			
2020年4月1日残高	15,813	—	109,989	1,289,168	1,289,168
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	72,838	72,838
その他の包括利益	6,585	△844	5,262	5,262	5,262
四半期包括利益合計	6,585	△844	5,262	78,100	78,100
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△881	△881
自己株式の処分	—	—	△79	0	0
配当金	—	—	—	△37,150	△37,150
株式報酬取引	—	—	—	391	391
振替	△1,377	844	△533	—	—
所有者との取引額合計	△1,377	844	△613	△37,640	△37,640
2020年9月30日残高	21,022	—	114,639	1,329,628	1,329,628

2021年4月1日残高	19,604	—	167,373	1,386,115	1,386,115
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	71,609	71,609
その他の包括利益	△6,369	1,573	△1,532	△1,532	△1,532
四半期包括利益合計	△6,369	1,573	△1,532	70,077	70,077
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△715	△715
自己株式の処分	—	—	△44	0	0
配当金	—	—	—	△38,914	△38,914
株式報酬取引	—	—	—	1,058	1,058
振替	2,239	△1,573	666	—	—
所有者との取引額合計	2,239	△1,573	623	△38,570	△38,570
2021年9月30日残高	15,474	—	166,464	1,417,622	1,417,622

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	89,091	89,085
減価償却費及び無形資産償却費	35,941	37,081
減損損失(又は戻入れ)	34,560	26,054
金融収益及び金融費用	△2,218	1,083
棚卸資産の増減額	△2,938	15,423
売上債権及びその他の債権の増減額	17,865	△13,254
仕入債務及びその他の債務の増減額	△50,805	△8,791
その他	△328	16,768
小計	121,167	163,451
法人所得税の支払額	△6,207	△24,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,960	139,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,955	△17,493
有形固定資産の売却による収入	22	256
無形資産の取得による支出	△29,086	△30,382
子会社の取得による支出	△1,707	△649
利息及び配当金の受取額	500	292
その他	5,941	△7,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,285	△55,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	△142,000	△40,000
長期借入れによる収入	80,000	—
自己株式の取得による支出	△881	△715
親会社の所有者への配当金の支払額	△37,150	△38,914
リース負債の返済による支出	△8,528	△9,083
その他	△1,177	△1,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,736	△89,936
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,404	△1,539
現金及び現金同等物の増減額	△31,657	△7,834
現金及び現金同等物の期首残高	318,391	326,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	286,734	318,295

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。